

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

館山市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法（学校名：船形小学校）

「算数科の自力解決や全体協議をタブレットの活用でより効果的な学習に」

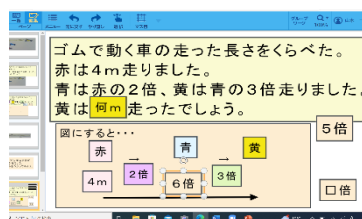
3年生：「何倍でしょう」（算数）

- ・自力解決に個人タブレットのブロックを操作して関係図を作成する。
- ・作成した関係図を大型モニターに映し出し、全体で共有して比較検討する。



メリット

- ・修正がしやすいので、関係図を意欲的に作成することができた。
- ・関係図を書く時間を短縮でき、考える時間を確保できた。
- ・子どもの関係図をモニターに映し出すことで誰にもわかりやすく、比較検討をより効果的に深めることができた。



2. 中学校の学習における活用方法（学校名：館山中学校）

『館山未来プロジェクト』電子黒板を利用しての発表会

発表会の際は、①事前にワークシートをスキャナーで画像データにし、その画像を電子黒板に映して発表

②タブレットでスライドを作成し、画面を電子黒板に映し、操作しながら発表

のどちらかを選ばせ、別教室から、6教室へ同時配信して、発表会を行った。

メリット

- ・集会などで発表するよりも、小さな部屋で発表する方が、生徒の緊張も和らぎ、充実した発表ができた。
- ・教室で視聴している生徒も、画面がよく見え、音声もクリアに聞こえるので、集中できた。
- ・調べたことを、グラフや図を自分で作り、発表している生徒も見られた。
- ・タブレットでの作成は、紙と比べて、何度でも手直しができる。
- ・Microsoft PowerPoint を利用して発表すると、発表原稿を作成せずとも、自分で考えて、自分の言葉で発表できる生徒が増えた。

